

## ■設計実習に関する授業

：「建築製図基礎」、「住生活設計Ⅰ・Ⅱ」、「まちづくり設計Ⅰ・Ⅱ」

居住環境コースでは、講義で学んだ専門知識を実際の問題として応用できるよう、設計実習の授業を設けています。設計実習と聞くと、自分にできるか不安に思われる人もいるかもしれませんが、実際に、本コースのほとんどの学生が入学時には未経験者です。そのため、初めて学ぶ人でも2年間で次第に上達できるようにカリキュラムを編成しています。具体的には、下記のように、線の引き方から始まり、住宅、建築、まちづくりへと、小さな空間から大きな空間へと段階的にステップアップしていきます。

設計実習では、自分の思い描くイメージを図面や模型の作品として形にできるのが魅力でもあります。完成させるには色々と試行錯誤が必要で大変でもあります。しかし、完成したときの達成感はかけがえのないものとなり、自分の成長を実感できるようになります。



### ◆建築製図基礎

線の引き方や表現方法、模型の作り方など製図の基礎を習得します。住宅図面の模写（トレース）や立体感のある表現（パース図）の作成、コンピューターによる作図（CAD）などを行います。



### ◆住生活設計Ⅰ

自分の部屋と戸建住宅の課題に取り組みます（小規模の空間）。いずれも、課題に対する答えを自ら考え、作品として提案します。戸建住宅では、インテリアの家具や仕上げなども細部にわたり図面や模型で表現します。



### ◆住生活設計Ⅱ

集合住宅とコミュニティ施設の課題に取り組みます（中規模の空間）。いずれも、様々な世代が共に生活でき交流できるように、バリアフリーやコミュニティに配慮した作品を提案します。



### ◆まちづくり設計Ⅰ

数件の戸建て住宅が集まる住宅地を計画し、個々の住宅だけでなく、道路や広場、植栽などの周辺環境も含めて一体的に設計します。住宅地全体の検討では、グループに分かれ、テーマや配置などの方針を決めます。



### ◆まちづくり設計Ⅱ

地域に開かれた共用施設をもつ集合住宅地を設計します。地域に求められる施設はいったい何か、また、コミュニティを育むにはどのようにすればよいかなどを考え、作品として提案します。

